



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 防大入試ガイダンスを開催

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 陸佐）は6月12日及び13日、防衛大学校入試ガイダンスを実施した。これは7月に開催予定の防衛大学校オープンキャンパスに向けて、栃木地本において事前に説明会を実施し、防大への理解を深めることを目的としている。

当日は防大入試統括官の森武教授が「防衛大学校の概要」「入試



制度」「学校生活」等を説明した。参加者からは「体力的に自信がないが、入校出来るだろうか」といった質問や「防衛大学校推薦入試の詳しい説明が聞けて良かった」といった感想が聞かれた。

説明会の後は参加者と栃木県自衛隊家族会防大部の部員が懇談を行った。打ち解けた雰囲気の中、参加者からは「防衛大学校」と言えば先輩後輩の上下関係が厳しいといった話があるが、実際にそのご家族の話聞いて安心した」「校友会活動がとても充実していることが伝わってきた」などの感想が聞かれた。

栃木地本は「今後も入隊種目ごとの説明会を積極的に実施し、募集目標達成に向けて邁進していく」としている。



## 図書館で小中学生が自衛隊体験

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 陸佐）は6月19日、宇都宮市立南図書館において、小中学生を対象とした自衛隊体験イベント「ナリキリツ★自衛官！」を実施した。これは南図書館が企画する「わくわくキッズ体験月間」の中でのイベントであり、同図書館に勤務する北宇都宮駐屯地防衛モニターが発案により実現したものである。

当日は図書館の職員と協力して検温や手指のアルコール消毒など、徹底した新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた。特に制服試着コーナーは事前申込制とし、一回の着用ごとに消毒乾燥を実施した。会場では気に入った制服を選び、装備品やタペストリーを背景に写真を撮る家族連れの姿が見られた。また、陸海空装備品のパネルを展示したコーナーでは、パネルを見れば答えがわかる自衛隊クイズを出題した。全問正解者には全国各地の部隊章を印刷したオリジナル缶バッジをプレゼントした。そのため、分からない問題について隊員に質問する子供や、パネルを見ながら数人で相談し合い、問題に取り組む子供たちの姿が見られた。

栃木地本は「今後も地域に密着した広報活動を行い、自衛隊を身近に感じてもらえるよう創意工夫していく」としている。

